やる気発生装置

教室通信 Vol.２５７２
Ｒ６．３．２５
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
https://www.second-campus.com/

受験生にとって、フライングの効果は

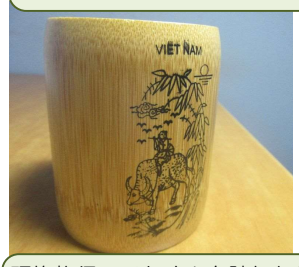
ことしの公立高校中期選抜の数学、だいぶ難しかったのではないか…という感想が塾の先生たちの間で出ていました。僕が解いたときの感触では、そこまで（中学生にとって）得点しにくくはないのでは、と思ったのですが、かなり高成績の子を選抜しているような塾でも数学で点を落とした人が多かったという話も聞くので、まだはっきりしたデータは出ていないものの、比較的難しい年だったのかも知れません。

僕が気になった点としては、図形や規則性の問題で、明らかに「応用・発展」の立ち位置で出題されているものが、高校の知識があれば極めて簡単になってしまう、ということですね。中学校範囲の数学しか知らなければ補助線を引いたりしてかなり考え込まないといけない問題が、高校１年生で学習する「余弦定理」を使えば超基本問題になるという具合です。作問をされる高校の先生がそれに気づかないはずはないので、これは「高校数学を先取りしている子が欲しい」というメッセージなのかなあ、それなら塾としても、意欲的な中学生には高校数学の範囲にも一層踏み込んで勉強してもらったほうがいいのだろうか…といったことが頭に浮かんだ次第です。

受験生みんなが高校の内容を知っていなければならないということはなく、特に数学については、大半の受験生にとって、一部の難しい問題を解くことにこだわるよりも、中学の教科書に載っている基本レベルの問題を丁寧に解ききることのほうが有利となります。ただ、もともと数学に「これは中学」「これは高校」といった線引きをしてもあまり意味はないですし、実際に中高一貫校では中学からどんどん高校数学に踏み込んでいってます。英語では、高校で学ぶ知識がないとクリア出来ない英検準２級や２級などを持っている人が高校受験で優遇される学校は多いです。全員が無理にやることではないものの、受験の世界において学習の先取り・フライングをためらう必要はない、と言えます。当塾でも、力のある生徒さんには、空回りには注意しつつ、先で学ぶことにも意欲的に取り組んでいってもらえたら、と考えています。

学校の数学では、４月新学年はだいたい新しい計算方法の習得から始まります。これはぜひ、春休みのうちにある程度練習量を積んでおきたいところです。積極的に学習を進めていってください。

週末は雨が続きました。なかなか春の日差しを浴びられませんが、桜の便りもそろそろ来ることでしょう。



研修旅行でベトナムを訪れた生徒さんから、お土産をいただきました。ありがとう！

当面の教室予定

3/25(月)～3/29(金)
１０：００～１２：００
１６：００～２２：００

3/30(土)
お休みです m(_ _)m

3/31(日)
１６：００～２１：００

※21 時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させて頂きます。
※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。